

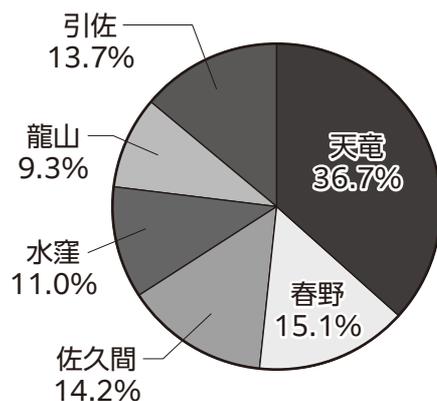
## Ⅱ 「中山間地域」にお住まいの方を対象とした 浜松市中山間地域住民アンケート調査結果

- 目的……………中山間地域振興計画の策定にあたり、中山間地域の抱える課題や住民ニーズの把握を目的とする。
- 調査期間……………2024(令和6)年1月31日～2月29日
- 調査対象地域……………中山間地域である天竜区の全域及び浜名区引佐町の北部(旧伊平村及び旧鎮玉村)
- 対象者数……………630人  
※調査対象地域内に在住の18歳以上(2024(令和6)年1月24日現在)の男女から無作為抽出
- 回答数……………365人
- 回答率……………57.9%
- 集計上の留意点
  - (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が100.0%にならないことがある。
  - (2) 「全体」を基数とし、回答割合はこれを100.0%として算出した。
  - (3) 複数回答が可能な質問でも、基数となる実数は「全体」であるため、各項目の比率は通常100.0%を超える。

### 1 回答者について

問1

あなたのお住まいの地域について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

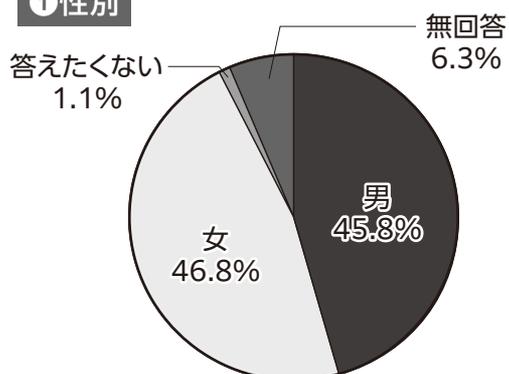


	回答数	割合
天竜地域	134	36.7%
春野地域	55	15.1%
佐久間地域	52	14.2%
水窪地域	40	11.0%
龍山地域	34	9.3%
引佐地域	50	13.7%
無回答	0	0.0%
全体	365	100.0%

**問2**

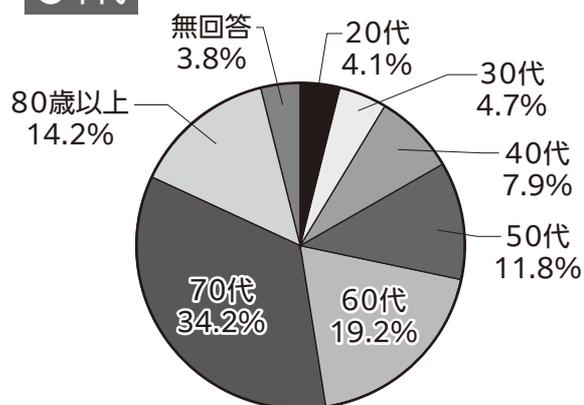
あなたの性別・年代について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

**①性別**



	回答数	割合
男	167	45.8%
女	171	46.8%
答えたくない	4	1.1%
その他	0	0.0%
無回答	23	6.3%
全体	365	100.0%

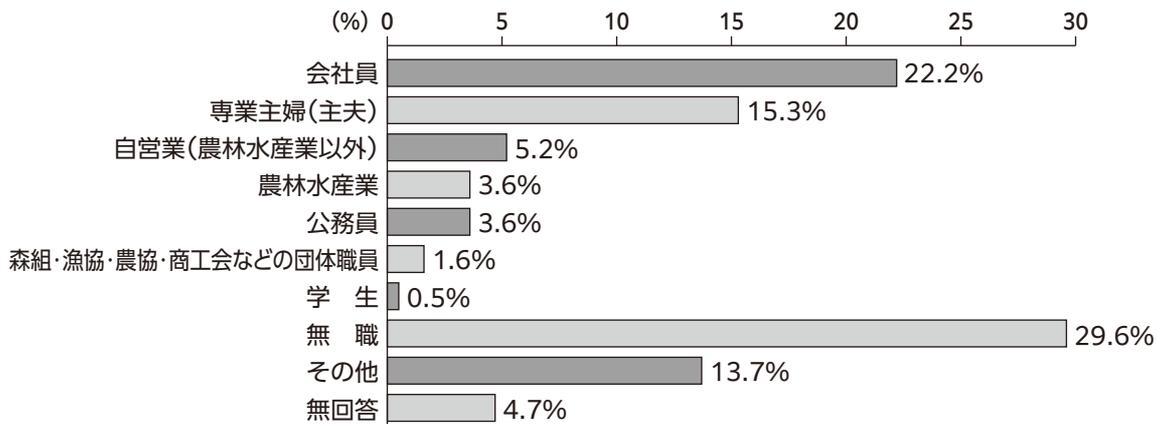
**②年代**



	回答数	割合
10代	0	0.0%
20代	15	4.1%
30代	17	4.7%
40代	29	7.9%
50代	43	11.8%
60代	70	19.2%
70代	125	34.2%
80歳以上	52	14.2%
無回答	14	3.8%
全体	365	100.0%

**問3**

あなたの職業について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

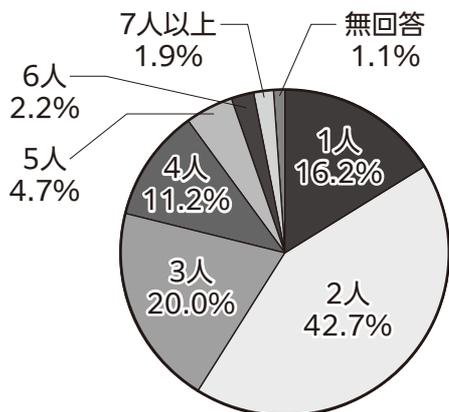


	回答数	割合
会社員	81	22.2%
専業主婦(主夫)	56	15.3%
自営業(農林水産業以外)	19	5.2%
農林水産業	13	3.6%
公務員	13	3.6%
森組・漁協・農協・商工会などの団体職員	6	1.6%
学生	2	0.5%
NPO法人職員	0	0.0%
無職	108	29.6%
その他	50	13.7%
無回答	17	4.7%
全体	365	100.0%

## 2 世帯の状況について

**問4**

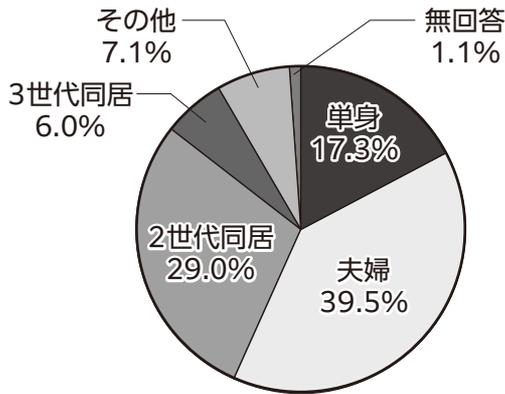
あなたの世帯の人数について、お答えください。  
(あなたを含めた人数を記入してください)



	回答数	割合
1人	59	16.2%
2人	156	42.7%
3人	73	20.0%
4人	41	11.2%
5人	17	4.7%
6人	8	2.2%
7人以上	7	1.9%
無回答	4	1.1%
全体	365	100.0%

**問5**

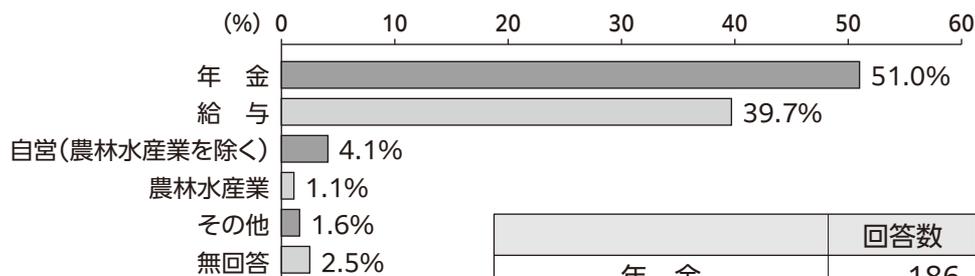
あなたの世帯の構成について、お答えください。  
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
単 身	63	17.3%
夫 婦	144	39.5%
2世代同居	106	29.0%
3世代同居	22	6.0%
その他	26	7.1%
無回答	4	1.1%
全 体	365	100.0%

**問6**

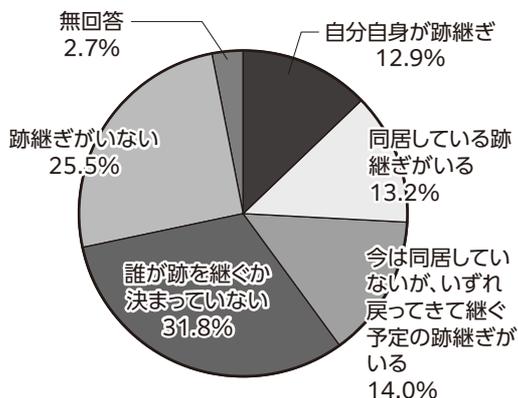
あなたの世帯における収入について、お答えください。  
(最も多く収入を得ているもの1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
年 金	186	51.0%
給 与	145	39.7%
自営(農林水産業を除く)	15	4.1%
農林水産業	4	1.1%
その他	6	1.6%
無回答	9	2.5%
全 体	365	100.0%

**問7**

あなたの家の跡継ぎについて、お答えください。  
(1つ選んで○をつけてください)

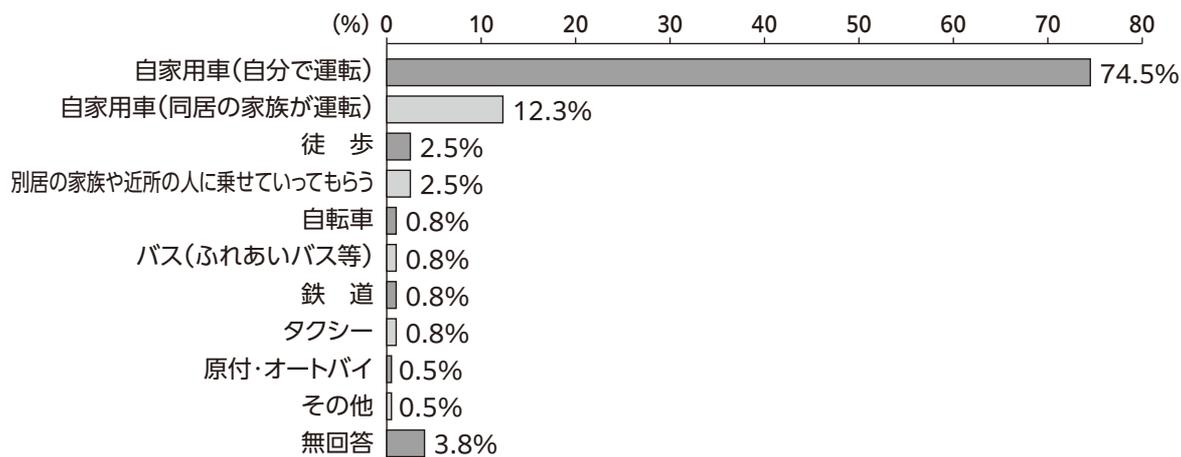


	回答数	割合
自分自身が跡継ぎ	47	12.9%
同居している跡継ぎがいる	48	13.2%
今は同居していないが、いずれ戻ってきて継ぐ予定の跡継ぎがいる	51	14.0%
誰が跡を継ぐか決まっていない	116	31.8%
跡継ぎがない	93	25.5%
無回答	10	2.7%
全 体	365	100.0%

### 3 日常生活の状況について

問8

買い物や通院の際に最も利用する交通手段について、お答えください。  
(1つ選んで○をつけてください)

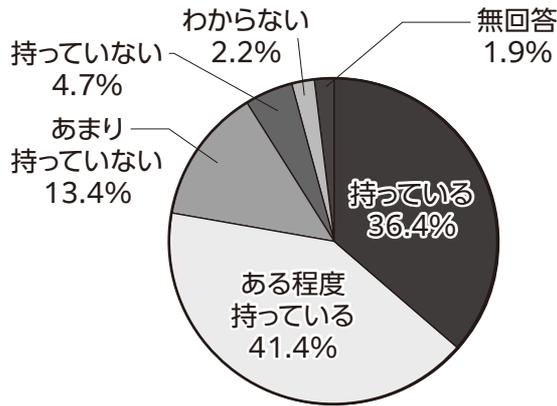


	回答数	割合
自家用車(自分で運転)	272	74.5%
自家用車(同居の家族が運転)	45	12.3%
徒歩	9	2.5%
別居の家族や近所の人に乘せていってもらう	9	2.5%
自転車	3	0.8%
バス(ふれあいバス等)	3	0.8%
鉄道	3	0.8%
タクシー	3	0.8%
原付・オートバイ	2	0.5%
その他	2	0.5%
無回答	14	3.8%
<b>全体</b>	<b>365</b>	<b>100.0%</b>

## 4 お住まいの地域・生活について

問9

あなたは、暮らしている地域に対する「愛着」や「誇り」をお持ちですか。  
(1つ選んで○をつけてください)

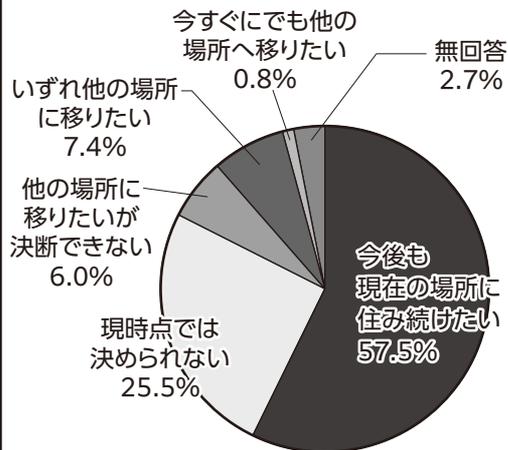


	回答数	割合
持っている	133	36.4%
ある程度持っている	151	41.4%
あまり持っていない	49	13.4%
持っていない	17	4.7%
わからない	8	2.2%
無回答	7	1.9%
全体	365	100.0%

※問10は、69ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

問11

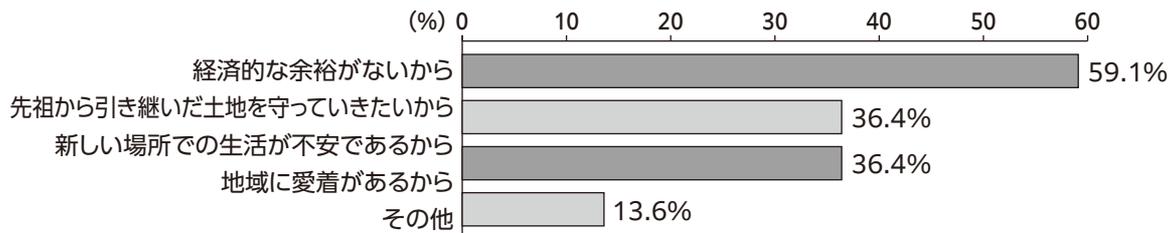
これからの生活について、お答えください。  
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
今後も現在の場所に住みたい	210	57.5%
現時点では決められない	93	25.5%
他の場所に移りたいが決断できない	22	6.0%
いずれ他の場所に移りたい	27	7.4%
今すぐにでも他の場所へ移りたい	3	0.8%
無回答	10	2.7%
全体	365	100.0%

**問12**

問11で「他の場所に移りたいが決断できない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（2つまで選んで○をつけてください）



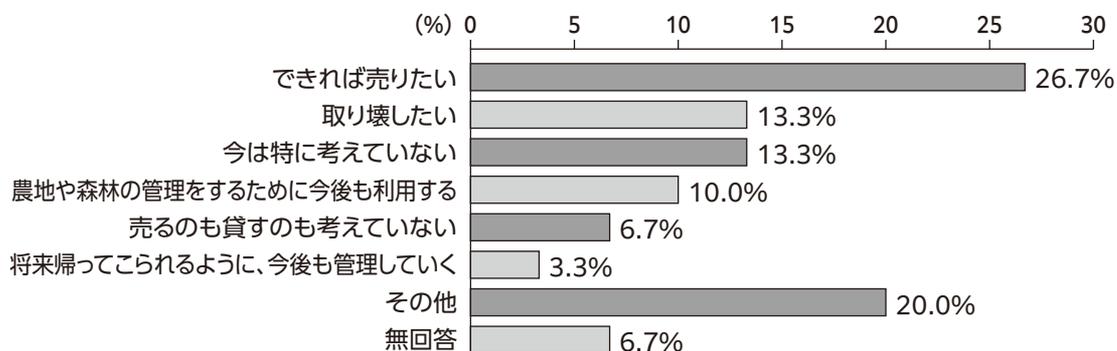
【全回答人数 22人】

	回答数	割合
経済的な余裕がないから	13	59.1%
先祖から引き継いだ土地を守っていききたいから	8	36.4%
新しい場所での生活が不安であるから	8	36.4%
地域に愛着があるから	3	13.6%
その他	3	13.6%
無回答	0	0.0%

※問13は、72ページ以降に自由記述の設問としてまとめて記載

**問14**

問11で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転する場合、現在の家屋や土地の扱いはどのように考えていますか。（1つ選んで○をつけてください）

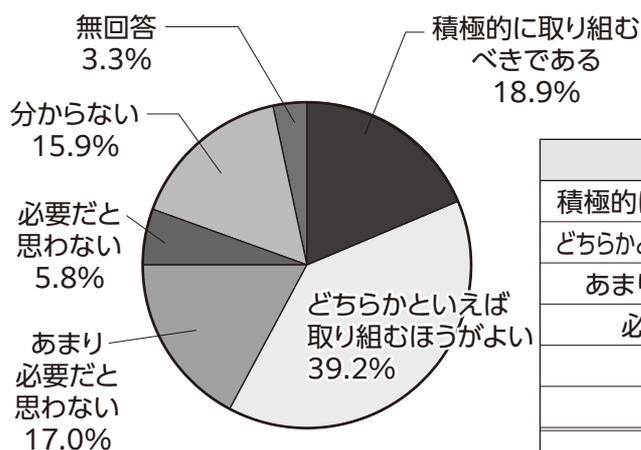


	回答数	割合
できれば売りたい	8	26.7%
取り壊したい	4	13.3%
今は特に考えていない	4	13.3%
農地や森林の管理をするために今後も利用する	3	10.0%
売るのも貸すのも考えていない	2	6.7%
将来帰ってこられるように、今後も管理していく	1	3.3%
売る気はないが、借りたい人がいれば貸しても良い	0	0.0%
その他	6	20.0%
無回答	2	6.7%
全体	30	100.0%

## 5 都市との交流について

問15

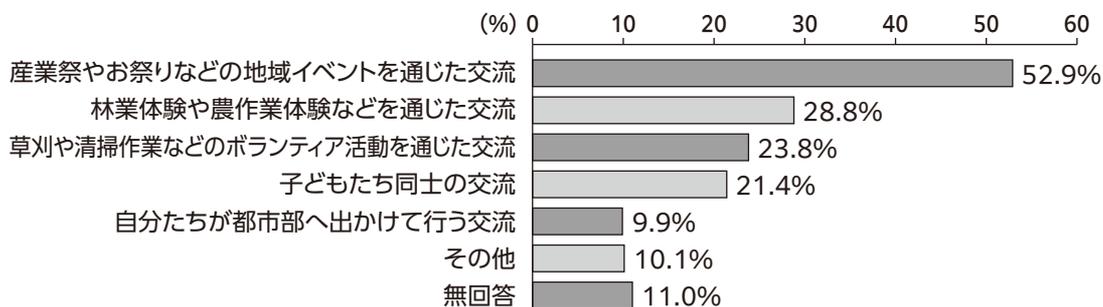
あなたは都市部の人たちとの交流についてどのようにお考えですか。  
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
積極的に取り組むべきである	69	18.9%
どちらかといえば取り組むほうがよい	143	39.2%
あまり必要だと思わない	62	17.0%
必要だと思わない	21	5.8%
分からない	58	15.9%
無回答	12	3.3%
全体	365	100.0%

問16

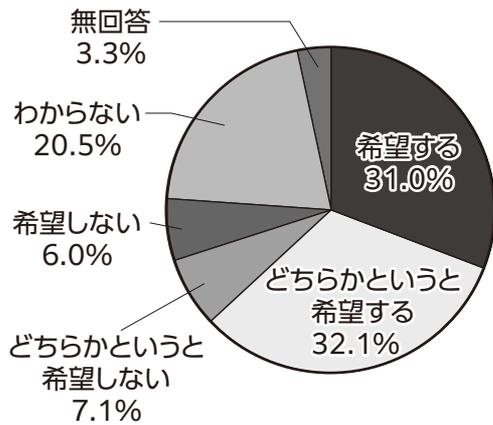
都市部の人たちと交流するとしたら、どのような方法が好ましいと思いますか。  
(最も好ましいと思う方法を2つ選んで○をつけてください)



【全回答人数 365人】

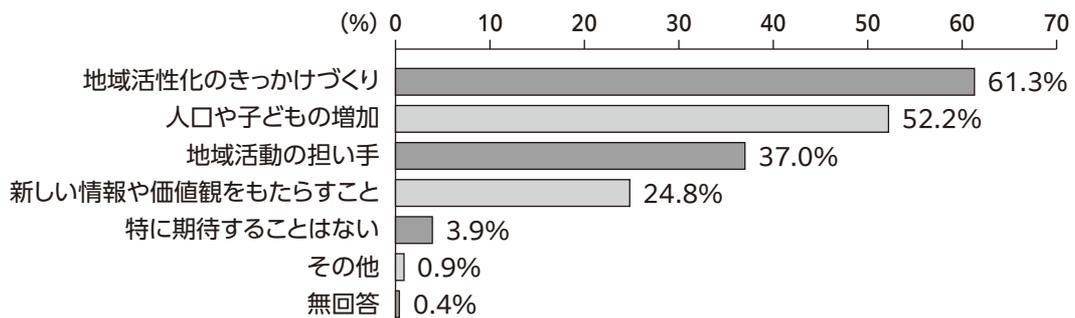
	回答数	割合
産業祭やお祭りなどの地域イベントを通じた交流	193	52.9%
林業体験や農作業体験などを通じた交流	105	28.8%
草刈や清掃作業などのボランティア活動を通じた交流	87	23.8%
子どもたち同士の交流	78	21.4%
自分たちが都市部へ出かけて行う交流	36	9.9%
その他	37	10.1%
無回答	40	11.0%

**問17** あなたの住んでいる地域や周辺に移住者が来ることを希望しますか？  
(1つ選んで○をつけてください)



	回答数	割合
希望する	113	31.0%
どちらかという希望する	117	32.1%
どちらかという希望しない	26	7.1%
希望しない	22	6.0%
わからない	75	20.5%
無回答	12	3.3%
<b>全体</b>	<b>365</b>	<b>100.0%</b>

**問18** 問17で「希望する」「どちらかという希望する」とお答えの方にお聞きします。移住者にどのようなことを期待しますか。  
(最も期待する項目を2つ選んで○をつけてください)

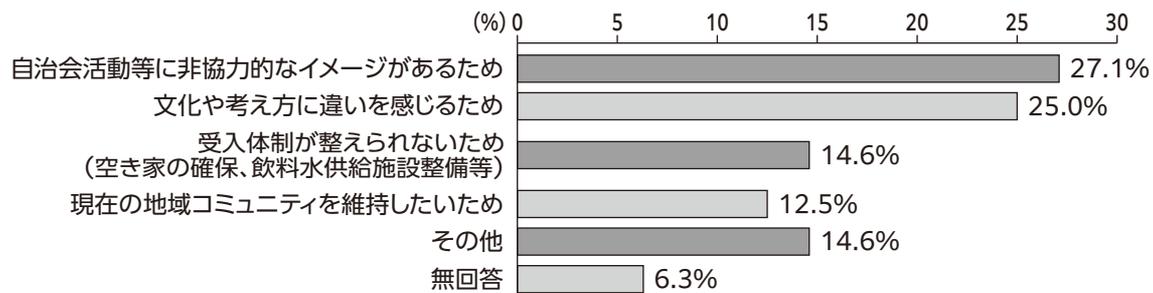


【全回答人数 230人】

	回答数	割合
地域活性化のきっかけづくり	141	61.3%
人口や子どもの増加	120	52.2%
地域活動の担い手	85	37.0%
新しい情報や価値観をもたらすこと	57	24.8%
特に期待することはない	9	3.9%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.4%

**問19**

問17で「どちらかという并希望しない」「希望しない」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか。（1つ選んで○をつけてください）

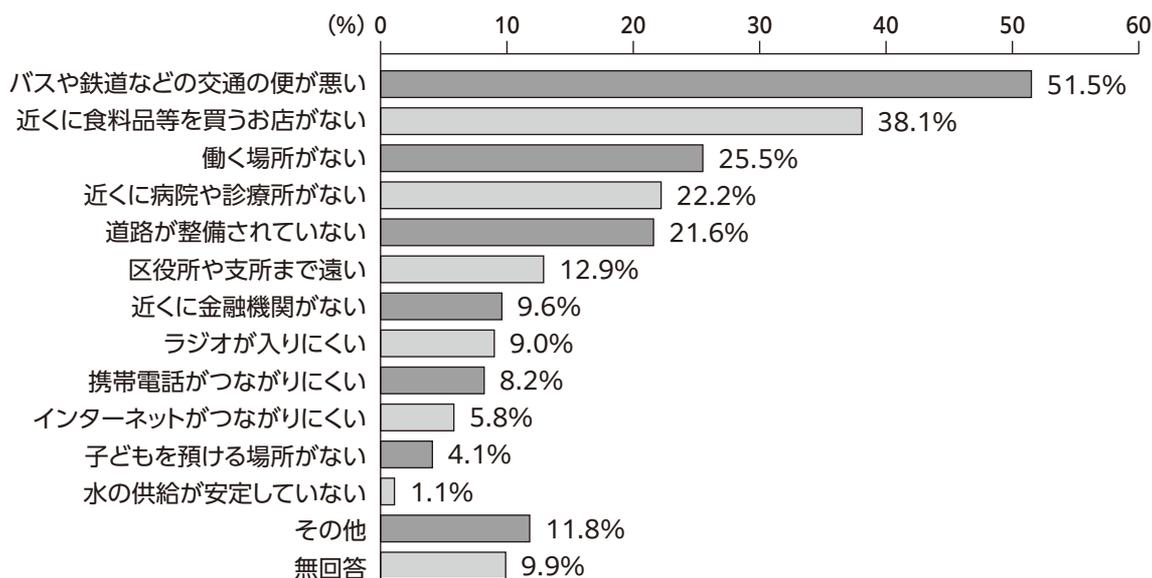


	回答数	割合
自治会活動等に非協力的なイメージがあるため	13	27.1%
文化や考え方に違いを感じるため	12	25.0%
受入体制が整えられないため(空き家の確保、飲料水供給施設整備等)	7	14.6%
現在の地域コミュニティを維持したいため	6	12.5%
その他	7	14.6%
無回答	3	6.3%
<b>全体</b>	<b>48</b>	<b>100.0%</b>

## 6 生活上の課題や対策について

問20

現在の日常生活において不便に思うことは何ですか？  
(3つまで選んで○をつけてください)

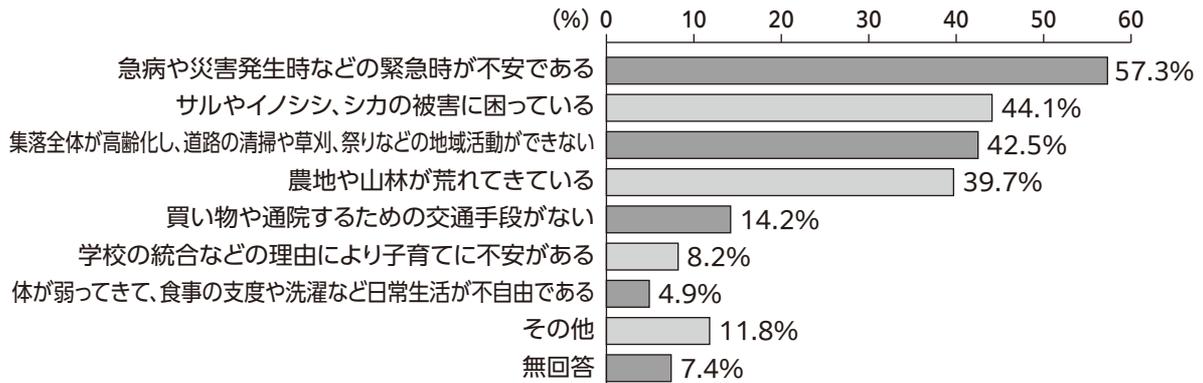


【全回答人数 365人】

	回答数	割合
バスや鉄道などの交通の便が悪い	188	51.5%
近くに食料品等を買うお店がない	139	38.1%
働く場所がない	93	25.5%
近くに病院や診療所がない	81	22.2%
道路が整備されていない	79	21.6%
区役所や支所まで遠い	47	12.9%
近くに金融機関がない	35	9.6%
ラジオが入りにくい	33	9.0%
携帯電話がつながりにくい	30	8.2%
インターネットがつながりにくい	21	5.8%
子どもを預ける場所がない	15	4.1%
水の供給が安定していない	4	1.1%
その他	43	11.8%
無回答	36	9.9%

**問21**

**現在の生活で心配なことや困っていることは何ですか。  
(3つまで選んで○をつけてください)**

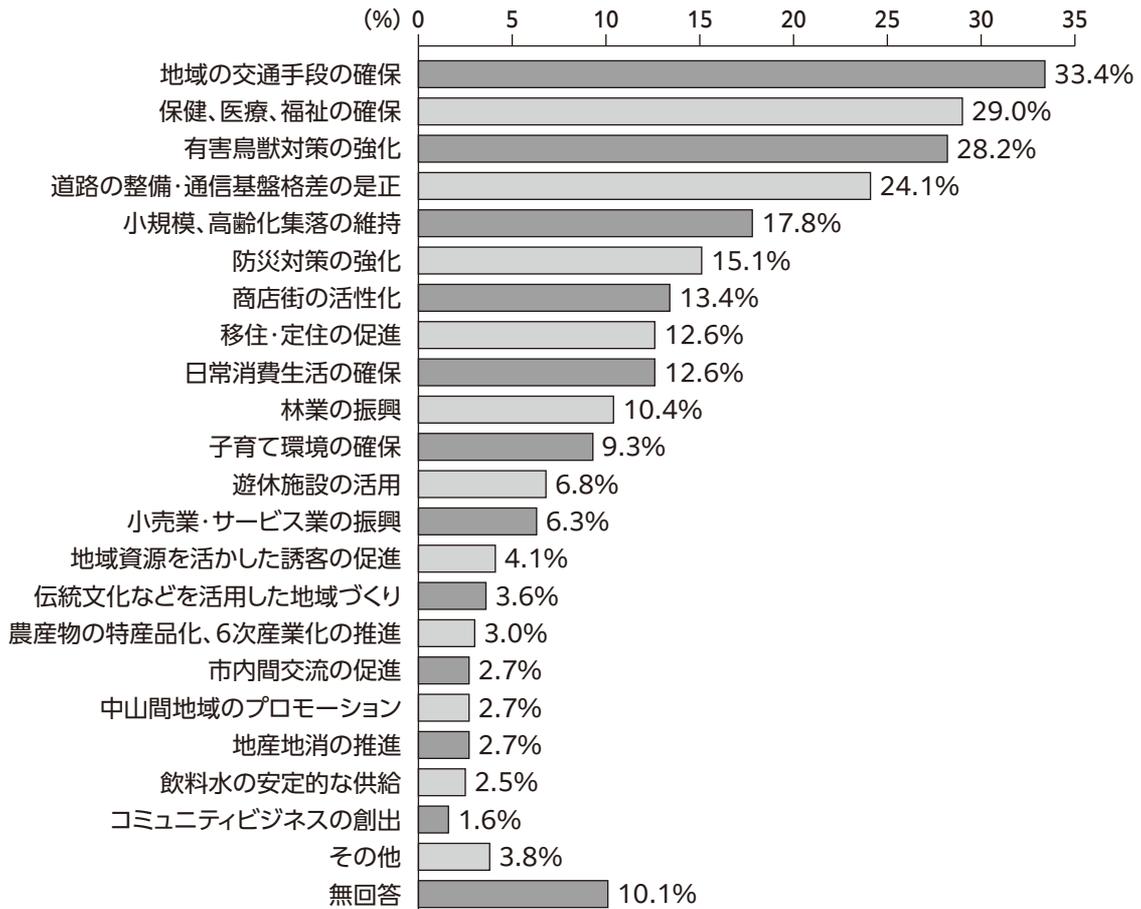


**【全回答人数 365人】**

	回答数	割合
急病や災害発生時などの緊急時が不安である	209	57.3%
サルやイノシシ、シカの被害に困っている	161	44.1%
集落全体が高齢化し、道路の清掃や草刈、祭りなどの地域活動ができない	155	42.5%
農地や山林が荒れてきている	145	39.7%
買い物や通院するための交通手段がない	52	14.2%
学校の統合などの理由により子育てに不安がある	30	8.2%
体が弱ってきて、食事の支度や洗濯など日常生活が不自由である	18	4.9%
その他	43	11.8%
無回答	27	7.4%

問22

今後の中山間地域への施策として、最も望むことは何ですか。  
(3つまで選んで○をつけてください)



【全回答人数 365人】

	回答数	割合
地域の交通手段の確保	122	33.4%
保健、医療、福祉の確保	106	29.0%
有害鳥獣対策の強化	103	28.2%
道路の整備・通信基盤格差の是正	88	24.1%
小規模、高齢化集落の維持	65	17.8%
防災対策の強化	55	15.1%
商店街の活性化	49	13.4%
移住・定住の促進	46	12.6%
日常消費生活の確保	46	12.6%
林業の振興	38	10.4%
子育て環境の確保	34	9.3%
遊休施設の活用	25	6.8%

	回答数	割合
小売業・サービス業の振興	23	6.3%
地域資源を活かした誘客の促進	15	4.1%
伝統文化などを活用した地域づくり	13	3.6%
農産物の特産品化、6次産業化の推進	11	3.0%
市内間交流の促進	10	2.7%
中山間地域のプロモーション	10	2.7%
地産地消の推進	10	2.7%
飲料水の安定的な供給	9	2.5%
コミュニティビジネスの創出	6	1.6%
その他	14	3.8%
無回答	37	10.1%

## 問10 あなたが望む中山間地域の将来像はどのようなイメージですか。（自由記述）

### 【天竜地区】

- ・トンネルをつくって中心地に簡単に行けるようにしたい。
- ・自転車ですぐに走行できる広域道路網。
- ・天竜川と天竜美林、春夏秋冬楽しめる町。年齢を重ねるとまずは交通面、どこにも行けなくなるかな。
- ・年をとって車の運転が出来なくなっても生活に困らないような地域。
- ・車がなくても暮らせるまち。
- ・自然豊かで快適であるが、自家用車（軽自動車）頼みである。
- ・生活、交通、買い物等心配なく安心して暮らせるよう、若者が住み続けられること。
- ・生活に必要なものが近くで手に入る地域。
- ・地域の特性をいかしたまちづくり。自然と調和したアトラクション？サウナ村とかどうでしょうか。
- ・人と人のつながりを大切に、お互い助け合いながら地域に暮らしていくことです。
- ・住民同士が協力し、助け合いながら暮らせるまち。
- ・協力し合って、地域で安心して暮らしていける。
- ・魅力あふれる地域、生活の安全・安心を確保した地域。
- ・四季折々の自然に囲まれ、必要な農作物が収穫できる。
- ・自家用の農地を保ち、野菜くらいは自家生産としたい。
- ・安全安心なまち。
- ・子ども・老人にやさしく安全安心に暮らせるまち。
- ・子育てしやすいまち、子育て支援があるまち、危険だと指摘された場所などがすぐに改善されるまち。
- ・高齢者が安心して暮らせる環境づくり、通院や買い物の交通手段が充実している。
- ・年を取っても、いきいきと暮らせる町。
- ・老年になっても、生きがいを持って、地域に居場所があるといいと思う。
- ・一人暮らしの高齢者でも困ることなく、安心して暮らせる町。
- ・人口は少なくとも公共交通機関や身近な医療が確保され、安心して住める田舎地域。
- ・安心安全はもちろんですが交通手段も心配のない地域でいられるようになると良いです。
- ・自然の中で最低限の公共交通機関を残しつつ住み続けられるまち。
- ・交通の便が確保されているまち。
- ・バスの便がないと困る時がある。
- ・高齢者が多くなりますのでお医者さんやお買物ができるお店が近くにあり安心して過ごせる場所となることです。
- ・子どもたちが生活しやすいまち（学校などが近くにある）。
- ・自然災害が発生した場合、ライフラインの復旧や各所からの支援に時間がかかる。
- ・災害が起きた時、孤立しない安全で快適に暮らしていきたい。
- ・災害時安心して暮らせる地域。
- ・公共交通機関に隣接した商業施設の新設。
- ・都市へのアクセスも比較的良く、自然に囲まれて広々とゆったり暮らせる素晴らしい場所。
- ・子どもから老人まで健康で、安全な地域。
- ・豊かな自然に心を癒される場所になってほしいが、多分農地に植林して集落は消滅。山林になり遠い先祖が山林を切り開く前の状態に戻るイメージ。
- ・小さい子どもが減る（みんな他の地域に出ていく）というイメージが強い。
- ・自分で車の運転が出来ないと住みづらいまち。
- ・川の増水等は考えられないが山崩れ等、心配がある。
- ・自営業をしている人の高齢化などでお店が減っていく。

## 【春野地区】

- ・住民による支え合い、助け合いと公的支援のシステムが整っているまち。
- ・市内間交流が盛んでグローバルで多様性のある人々がいきいきと暮らせる町。
- ・助け合い安心して暮らせる町。
- ・山林が整備されていて、害獣被害が少ないまち。
- ・荒廃しすぎた山林、その中でも自然を愛して生活する人々。人間らしい生活ができるまち。
- ・山里暮らしが好きです。ここ10年で猪が出て3年前からシカも出て、野菜も花木も荒されて楽しかった山里暮らしが奪われました。以前のような山里に生きていきたい。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・安心、安全に子育てができるまち。
- ・仕事を続けながら、安心して暮らせるまち。
- ・高齢化は進み、人口は減少していくが、住民が助け合い、自分達でできることはしていく。
- ・病気をした時、病院が遠いので不安。
- ・山間地なのでこの先が不安。特に医者がいなくなるのでは…。
- ・医療や生活に安心できるまち。
- ・集落の高齢化が進んでいて、今後不安が大きい。安心して生活できるようにしてほしい。
- ・車を運転できなくなっからの病院などの交通手段。
- ・働ける場所がある、若者が多くいるまち。
- ・ずっと住み続けられるまち 交通手段が良くて商店や医療機関が充実しているまち。
- ・老人には医療、買物の不安がなく（交通の足、医師）若い世代には仕事がある。
- ・若者たちが増えて、みんなが助け合って暮らせるまち。
- ・過疎化が進み全てにおいて不便となり住みづらいまち。
- ・日常生活に困る（買物・通院）。御近所付き合いが大変。災害時の対応が後回しになる。
- ・過疎化がますます進む。
- ・自治会が少なくなっていく。
- ・高齢者が多く企業は少なく店も近くにないし不便な町。病院も近くにないし地震がきたら崩れそうで安全安心とも言えない。

## 【佐久間地区】

- ・電車もバスも使え、どの年齢の人でも不自由なく暮らせる町。
- ・佐久間地区が合併前は浦川町ですこぶる元気があったが、現在は店もみんな無くなりさみしい。何とか若者の手で元気をとり戻してほしい。
- ・高齢者が多く、空き家が多い。商店街もなくなり生活、買い物がしづらくなりました。週3回移動販売車が来てくれ有り難く思っています。
- ・食品が手軽に手に入る等。
- ・買い物が出来ない。
- ・病院があり、食品を買い物できる店があり、道路が安全・便利に整備されていることで自立して生活できるので、それを実行してくれる市政が機能し続けること。
- ・若い方たちが減少し、自分たちも高齢化してきているので、地域への参加も難しくなると不安が大きくなると思う。
- ・安全・安心が守られるまち。より不便にならないまち。
- ・子育てをする若者たちが安心して暮らせるまち。
- ・高齢者が住み慣れたこの土地で隣近所の助け合い精神で高齢者を支えて、行政などとの（ふれあいセンター）つながりのあるまち。
- ・鉄道が現状を維持運行し、何か地場産業があるむら。

- ・災害のない町。
- ・こどもの声が聞こえるまち。
- ・ずっと住み続けたいけど、年を取った時、跡継ぎが働く場所がないので、いずれはこの村を出て行くか、あるいは死ぬまで住んでいくかの2つに1つの選択しかない。
- ・人口・世帯減少により地域として成り立っていけるのか不安。耕作放棄地が増加する一方、生活するのに必要な商店、施設、事業所が身近になくなり暮らしが不安になってくる。
- ・過疎化が進み人口減少が続く中、将来自分たちも運転出来なくなる日も遠くなく不安があります。
- ・すでに限界集落の状況にあり、コミュニティが成立しなくなる。

### 【水窪地区】

- ・助け合って安心して暮らせる町。
- ・人の交流が盛んになって山間地の良さが共有できるようになってくる町。
- ・自治会の合併。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・心穏やかに住み続けるまち。在宅介護、医療の支援が充実したまちづくりの推進をお願いしたい。
- ・働く場所があって若者がいて都市へ出るのに都合がよくて活気のあるまち。
- ・限界集落のため希望を持ってない。
- ・過疎化していて希望が持てず不安。
- ・高齢者ばかりで空き家が増える。

### 【龍山地区】

- ・地域住民と仲良く、協力して町を守っていくこと。
- ・現在は、手入れのされない山の急斜面の土地に暮らしているが、こどもの頃のように雑木林も多く、手入れがされた明るい森林なら、私自身は山の生活は好きです。それと、年をとっても交通の便に困らない生活ならここで暮らしたい。
- ・住み続けたいが台風などで道路が通れなくなるのでこれからは心配です（車道）。
- ・安全安心に暮らせるまち。
- ・高齢者が買物、病院等に困らない町。
- ・医療、福祉の充実した安心して暮らせる町。
- ・こどもの声が聞ける町。
- ・中高年齢の方が会社勤め等退職した受け皿を考えてほしい。高齢者は田舎暮らしがよくなり、一度は古里を離れてもまた戻って、古里の生活に戻りたい人もおり、早く退職してからも古里でできる仕事（事業所、農業）を準備してあげるなど。人口が増える町になってほしい。
- ・子育てしやすい、若者たちが住み続けられる。

### 【引佐地区】

- ・他方から山地域の良さを知ってもらい移り住むようになること。
- ・住民とのつながりが強いまち。
- ・現在よりの人々の交流が盛んな町。
- ・野生動物が暮らせる所。
- ・サル・シカ・イノシシの鳥獣被害が無く野菜・果物が安心してできるまち。
- ・遠鉄バスもなくなり、自家用車がないと何も出来ない、ということになってしまったので、公的交通手段も買物も何の不自由もなく生活できるような便利で、なおかつ、自然もそれなりにあるまち。
- ・公共交通手段が有り市街と移動できる地域である。

- ・近くに病院（診療所等）、食品店があること。若者は町へ移り、高齢者が多い。
- ・子ども達がたくさんいる町が一番だと思う。
- ・子どもがのびのびすごせる。
- ・自治会の役は約50年前と同じ。
- ・今、60~70代が主流で、自治会長、区長、副区長、体育部長、環境美化部長、祭り総代、寺世話人などと多過ぎます。自治会再編も必要です。役決めの際は、言い合いになる。

### 問13

問11で「いずれ他の場所に移りたい」「今すぐにでも他の場所へ移りたい」とお答えの方にお聞きします。移転を希望する理由を教えてください。

#### 【天竜地区】

- ・運転できなくなったら生活できない。
- ・車の運転ができなくなったり、歩行困難になったら、自力で生活ができなくなるから。
- ・車を運転しなくなると不便だから。
- ・街へのアクセスが良くない。公共交通機関が少ないので、いずれ高齢者になったとき、自分で外出しづらくなるのが少し不安。夜、街灯が少ない。今の場所に居住するメリットがあまり見つけられない。

#### 【春野地区】

- ・高齢になった時、医療が不安。
- ・車がいつまでも運転できないので不便。
- ・今は車の運転ができるので不便ではないですが、この先返納する時が来ると思うので交通の便の良い場所に移る方が安心かと思う。

#### 【佐久間地区】

- ・店、金融機関が近しくなく現在は自分や夫の運転で出掛けることができますが、運転ができなくなった時のことを考えます。いずれ子どもたちの近くにいた方が都合が良くなると思っています。
- ・人が減っている。隣近所の家は取り壊しをした家が増えてきている。空き家も多い。
- ・老後の生活が成り立たないと感じている。（交通の問題）

#### 【水窪地区】

- ・移りたいと言うより、移らざるをえない。自分で運転できなければ生活の手段がないから。

#### 【龍山地区】

- ・水道水が届かなくなった時一番困るから今、自分たちで管理していますが、管理できなくなった時に困るのでその時は他の場所に移ります。

#### 【引佐地区】

- ・子どもの進学を考えると、今、移動に労力がかかっている。

## 7 その他、中山間地域振興に対するご意見

その他、中山間地域振興に対するご意見があれば、教えてください。（自由記述）

### 【天竜地区】

- ・飛龍大橋から奥につながる道を早く通れるようにしてほしいです。
- ・障害のある人にも住みやすくしてほしいです。
- ・中山間地域を切り捨ててはいけません。都市部の生活環境とまではいかななくても山、川、森の魅力をいかした生活体験を都市部のみなさんに、と願う。
- ・空き家を活用した移住促進。
- ・①移住を希望する人に、空き家を紹介するのが良いと思う。②夏、川に遊びに来るのは、やめてほしい。都会人の遊び場ではない。③火事、救急を連絡する時、スマートフォンで情報が伝達できると良いと思う。
- ・現実には、奥に住んでいる人の若者たちは南に出て、家を建てたりしています。それは仕方がないことと思います。二俣に住む私としては、二俣の空き家や、空き地に奥から出てきた人に住んで（購入して）いただけたいと思います。ただ、ほとんどの人達が浜北くらいまで出て行ってしまい、二俣もさみしくなっています。人口が増えないと、学校も合併で少なくなってしまう。
- ・中山間地域にある空き家を探しているが、空き家はたくさんあるが貸してくれる人、また手放してくれる人がとても少ない。
- ・統合後の地域の声として（学校に勤務する関係で、佐久間、水窪地区にも通勤したので）協働センターの職員が、大幅に入れ替ったりして、そのことをきっかけにして地元に住んでいた職員が転勤を機に転居してしまい、それをきっかけに人口減少が急激に起きている。天竜区内の道路が、損壊してもなかなか補修されない。統合前に比べても大幅に遅れることが多い。正直、統合しなければよかったという声が多い。今回の区の再編でも天竜区は特別区としているが、「じゃま者扱い」という見方が多いです。このアンケートも大切だとは思いますが、これによって何が変わるかと考えると殆んど期待できないと感じてしまう。
- ・中山間地域の定義がよく分かりません。
- ・浜松の半分の面積は天竜区です。対処療法的なバラまき施策ではなく、中山間地域の魅力を発信していければと思います。または、そういった民間団体へ予算を出してやってもらうなどが良いかなと思います。
- ・環境問題を考えるならもっと林業を大事にした方がよい。水が大切です。きれいな水は、しっかり手がいって山です。
- ・ゴールデンウィーク、夏休みなど川遊びや自然を求めて他地区から多くの車が入ってきますが、地元生活者は不便が生ずるのみであり、お互いにウィンウィンになるような方法であればいつも考えてしまいます。
- ・台風などによる国道152号の通行止め。国道152号、水窪方面、佐久間方面、道が狭いため危険。
- ・近年の災害等により住み続けるのに不安（土砂くずれ等）。
- ・市所有の遊休施設が多く感じる。地域での利活用にまとまった出物をつくってほしい。産業や定住人口を根付かせる最後のチャンス。市所有施設は無駄にせず早急に解放してほしい。また、旅館や空き家などの利活用も、ある程度強権的に進めてもよいのではないかと。介入・あっせんなど、都市部から産業を誘致し、商店街の活性化を行ってほしい。
- ・私は現在光明ふれあいセンターにて多くのサークル活動に参加しておりますが、当センターが令和6年度1年かけて改装工事を行うので使用できなくなります。会議室・和室等でできる活動は二俣ふれあいセンターを利用させていただけるかと思うのですが卓球が困っております。天竜体育館の完成はいつ頃になるのでしょうか。

- ・こどもを育てやすい環境と支援。
- ・クローバー通りの商店街は祭りの時などはとてもにぎやかですが、普段の姿はとても閑散としている印象を受けます。若者のお店（カフェなど）が出来ている一方、やっているのか分からないようなお店も見かけます。静岡市から移住してきた身としては、もっと商店街に利用しやすいお店が増えたらいいのになあと思います。こどもを育てるようになって思ったこと。自分が住んでいる二俣には少ないかもしれませんが、交通量が多いわりに歩道が狭く、ベビーカーでは通りにくい場所がありました。妊娠中やベビーカーでの散歩で少し不便に感じたので、そういった道が少しずつでも減っていくと良いなあと思います。
- ・人生100年時代。高齢化していく中、元気に日々過ごしていけるような地域であれば、積極的にいろいろな催しにも参加したり、交流したりしたいと思います。健康不安・孤独不安・経済不安がなく安心して住める地域がよいですね。高齢者ひとり一人が元気で過ごせることが大切だと思います。
- ・地域性（自然）をいかした遊休施設をつくり、魅力をアピールし集客をしてほしい。それには交通手段が確保されていないといけない。遠州鉄道が最低でも二俣までつながっているとありがたい。また、天浜線の乗り継ぎがスムーズでなかったりするので天浜線の時刻表の改善や本数を増やすなどしてほしい。
- ・バスを増やし、高齢者にタクシー券を配布してほしい。とにかく、交通手段の確保をすること。これでもかなり時間、お金を消費させられている。高齢者が免許返納したくてもできない。免許を返納しないと、事故を起こす可能性が高まり、返納すると、活動範囲が狭まり、結果、物忘れが急速に始まる。なんとかしてほしい。
- ・都市部に比べて人口減少や高齢化が進んでいるので生活サービス、交通手段の確保、デジタル化が充実してほしいです。
- ・今後起こるだろうと言われている天変地異に備えて、防災の意識を高めるよう啓発することや行政においても陸の孤島とならないように準備をお願いしたいです。
- ・安全な避難所の設置をお願いします。現在の避難所の欠点①川の増水で水につかりやすい所にある。②増水の場合、家からそこまで行くのに危険。希望として避難所がなるべく高所にあつて、避難路が各家から、すぐ高い位置に向う道があり、その高さで避難に向う方向があるとよいと思う。
- ・自然の中で子育てをしたいと思っても、こどもの少なさが気になる。自然の中でこどもを遊ばせる良さを発信してほしい。
- ・有害鳥獣対策に本腰を入れてほしい。このままでは、集落の人口よりシカ・イノシシの数が多くなり生活ができなくなります。
- ・熊等野生動物が民家周辺に出没し始めていて不安を感じています。
- ・中山間地域は、道路の整備や水道などの保守整備に多くの金がかかるので、都市部や外国人旅行者が訪れる魅力ある地域づくりを行い、活性化を図ると良いと思う。
- ・今後、保育園が統合されて1つになってしまうため、こどもの預け先に苦勞する親が増えるのではないかと心配しています。少子化も進んでいる今、子育てしながら働きやすい環境をぜひつくっていただき、こどもたちの数が増え、いきいきとしたまちづくりにつなげていただければ嬉しいです。
- ・高齢者でも働ける場所をつくってほしい。
- ・静岡市など他の市に比べてバスの便が少ない。非常に悪い。静岡鉄道にできていることがなぜ遠州鉄道にできないのか？
- ・遠州鉄道の西鹿島駅から二俣へ行くバスの本数が減った。
- ・若者が定住できるように鉄道等の整備。森林資源の有効活用のための維持管理機能の充実（山間地域のデメリットをメリットに変える努力）。
- ・私が住んでいる地区は交通の便も悪くないし都市部に出て行くのもそんなに時間がかからないので普段は住みやすい。ただ心配なのは、大災害が発生して橋の崩落による地区の孤立である。飛龍大橋から先のバイパスを早く完成させてほしいと願うばかりだ。

## 【春野地区】

- ・遊休農地を活用した市民農園（滞在型）の開設。
- ・これから益々高齢化が進んでいくと、空き家・耕作放棄地が増えて来ますよね。最近は日常に暇も出来、車で町内を巡ることがあります。そんな時、ずいぶん空き家が目立ち、周りも草まみれな場所があります。あまり、見た目もよくないですし、何か寂しさ虚しさを感じてしまいます。ぜひ、このような箇所が増えないように空き家、土地の有効利用を考えてほしい。
- ・都会へと結ぶ交通道路網の拡充（二俣、阿蔵山地区のバイパスの推進）。
- ・中山間地域の自然を維持しながら、自然をいかした企業の誘致など人口が少しでも増える活動を官民で考える環境が必要ではないかと思う。
- ・縦割り行政ではなく組織の横つながりをもって前例に固執せず、柔軟な対応がほしい。例えば、地域バスに関しては病院に行き来するだけでなく、こどもが友達と遊ぶために乗ることや、観光やウォーキングに疲れたら、気軽に手を上げて、どこでも乗れるという運用に変えとか。その他にも法や規則にしばられてできないことがあります。色々な方面から考えてほしいと思います（使用していない公共の建物の保存と活用など）。
- ・中山間地域の活性化のために関係人口を増やすような取り組みをしてほしい。今の浜松市の地域振興はNPOや民間の人々に任せすぎだと思うので、積極的に何か行ってほしい。正直、地域振興を浜松市が行ってくれたと思ったことは一度もない。地域の人を中心にいつも地域振興を行っている。選挙の時だけ山間地域のために動くといっていて一度も春野に来ないのはどうかと思う。アンケートを取るだけでなく住民が参加できるまちづくりのワークショップを行ってほしい。行政と住民の間に地域振興に対する温度差があることを知ってほしい。春野町で町おこしをしている人はもっとがんばっています！
- ・山のスギ・ヒノキ等を切り広葉樹への植替。
- ・山の木が切れて隣の集落の家が見えるようになれば明るくなって嬉しいです。
- ・ドローンの講習会を利用していない学校のグラウンド、校舎を使うのは良いと思うのですが、検討してほしい。ドローン学校があっても良いと思います。
- ・春野で住みたいと思える若者が増えるような、対応が必要だと思います。個人としては大きなことはできません。このままでは、限界集落が増えてしまいます。行政としての対応が必要ではないでしょうか。
- ・5年後10年後と悪くばかり考えないで、春野町は、今は仕事の関係等で生活も変わってきています。この先、やっぱり春野町、この町が良かった。また、こども達の帰ってきてくれる安心して住める町に成ってほしいです。こんなすばらしい町がどこに行ってもありませんよ…と私は、何10年前から思っています。
- ・全部があてはまることだと思う。特に医者がほしい。人口が増えること（働く場所の確保）。
- ・南海トラフを想定して大都会（東京）の避難所として都市との交流を図る。空き家をどこでも定額で住むことのできるサブスクリプション型の多拠点居住サービスとして活用。民宿の活用。
- ・人口減少、高齢化について、その他1. 減少率を上げないための施策を考えたい。①卒業した学生が住み続けたいと思える町づくり。プロモーション化へ向けて、洗い出し等をしていく人材育成他。②子育てが安心してできる町。保育施設の充実。降園時刻が早いので、共働きに支障。小学生の下校後（毎日実施していない。終了時刻）。2. 高齢化に向けて。①地域・地区での見守り等が大切であり、必要。介護度（級）が付く前の高齢者へ向けた支援体制づくり。3. 課題の洗い出し後（大がかりな体制でなく）コミュニティビジネスへ向けた対応ができるか想定、検討創出をしていきたい（分野も、産業支援、生活支援、教育支援等、分類し、一分野のみに選定する）。
- ・介護施設が足りません。

- ・10年程前から主人が脳梗塞になり、現在寝たきり状態です。今現在は、免許があるのでなんとかなっておりますが（あと3年くらいは免許がありますが）その後体のこともありますし、自分がどのようになるのか判りません。病院は近くに小泉医院、小沢医院がありますが、主人が何度か、脳梗塞を再発しており、日赤病院までの交通手段、自家用車があるうちは、なんとかなりますが、免許が失くなった時が不安です（今から考えておかなければならない問題です）。食料品の買物は現在は近くまで移動販売車が一週間に一度来ています。（地元スーパーが閉店されたのでとても不便になりました）。

## 【佐久間地区】

- ・自宅周囲の農地が荒れている。草で覆われているため対策を希望します。
- ・何年もの間、自宅まで車が入れるよう土木所管課に申請していますが未だに出来ない。道沿いに住宅4戸、農地は耕作放棄している。みんな高齢者なので生活が出来なくなるとし、急な坂道100mぐらいと思います。至急検討してほしい。
- ・生活道路の整備はライフラインの基盤である。路面の補修や落石防護ネットの設置等、自治会から要望が出た案件についてはすみやかに改善されるよう、予算の増額をお願いしたい。
- ・移住する方が増えてくれるのは空き家対策等にもつながり、いいことだとは思いますが、トラブルも発生することが予想される。現にご近所トラブル（対移住者との）が数年前に実際にあったので、不安はある。買い物をする場所がなくなり、移動販売車が増えて助かっている部分もあるが、すぐは買い足しができないので、やはりお店は必要。
- ・市営住宅など廃止になり、住んでみたいと思う人に提供する住宅を整備する予定はあるのか。
- ・地域の住民が様々なことに関心を持ち、生活が向上することを願います。すばらしい自然をいかして、世界中に知られる場所にもなると思います。若い方の力になりたいと思います。
- ・いくつかの企業が撤退し、若者たちは町へ移住してしまった今となっては、この山間部の未来は、あまり期待できないが、空き家を活用して移住者が増えれば、もしかしたら遠い将来山間部の未来が見えて来るかも知れない。その為には都会への通勤が便利になるように道路整備を促進していかねばならないと思っています。
- ・都市部ばかりに手厚く、お金をかけ、文化的、経済的、社会的整備がされている。森林や河川、水、電力などの貢献はあまり顧みられていないと感じる。中山間地で生き、頑張る人々がたくさんいることを、より様々な交流を通して理解を深めていただきたい。文化的施設や学校の撤廃ばかり進めず、住人の福祉、生活環境、文化的環境の充実をより図る方向で知恵を絞り実行していただきたい。この調査をそのために活用願いたい。
- ・地域でイベントがあっても知らないことがある。宣伝方法に工夫や変更が必要なのではないかと思うことがあります。
- ・農協跡地（浦川）への企業誘致（三遠南信自動車道浦川IC直結が有る）ぜひ実現してほしい。人口の増加にもつながると思う。
- ・主要道路が通れなくなると（災害等）迂回路が遠回りでも買い物難民になる。
- ・災害が発生した場合に孤立する可能性は高いですが、比較的安全で豊富な水資源や昔ながらの生活スタイルを持っていることから、発災後の生活水準を維持することは市街より期待できると思う。防災面から道路の整備対策の強化には努めていただきたい。
- ・国道の土砂災害対策。崩落後の早期復旧。
- ・空き家が多いです。空き家にしてしまうと税金がどのくらいかかるとか放火等で火災になったらどのくらいお金がかかるのか等々空き家にしておかないための広告をしていただきたいと思っております（自分も知りたいです）。
- ・車の無い私達にとって電車とふれあいバスは大変必要です この先無くさないでほしい。町と町との交友関係を増やす（レクリエーション等）。

- ・若者もネット環境があれば何もなくても過ごせるし仕事として行うこともできる。年をとった者も今後はスマホやネットが使える必要が多くなる 苦手なのにつながりも悪くても出来るものも出来なくなる。
- ・若者たちが地元に残って安心して子育てができるよう働く場所が確保できるようにとお願い致します。
- ・中山間地域振興の決め手はとにかく働く場の確保が必要かと思う。
- ・幼・壮・老バランスのとれた人口構成になってはじめて地域が維持継承されると思います。それには何をしておいても産業振興が必須の案件と考えます。この他に、今有る物は山林だけですから、林産加工業を起こすことがいいのでは？
- ・立派な介護施設があっても働く人達が少ないからその施設が十分な役割を果たしているのかと不安に思う。施設を利用しようと思っても金銭的なことなどやはり不安に思うことが多い。健康でどこまで生活できるかは分からないけどこの地域で安心して暮らしていけるかはとても心配になる一つだと思う。
- ・3歳以下のこどもを預ける施設がなく、親のどちらかは働くことが出来ず、せつかくの貴重な人材が埋もれている。移住を促しても、そのような環境がないと来ない人もいるはずだし、出産に対してマイナスに働いてしまう。予算を子育て環境の充実にまわしてほしい。行政がそもそも中山間地域振興に力を入れている気がしない。このようなアンケートをとり、のらりくらりやり人口が減っていくのを待っているのだと感じる。でなければ、若者が限界まで減っているこの地域の対策をこんなにもんびりやるはずがないし、何もしないのは時代に合わせず、住みにくくして、田舎から都市部への移住を促していると感じてしまう。令和5年7月の中山間地域振興に関する会議にも出席しましたが、この地域に住んでいない人がそのような仕事をして愛着も実感もないので無理だと思う。学校に関しても、都市部の学校と田舎の学校を同じ条件でとらえられるので、要望が通らない。浜松は広いのでその土地の事情を考え、話してほしい。国道152号の西渡、相月間は日本一悪い国道だと思う。死亡事故があったのに何も対策しないし、道路の改善を要求してもいつできるかわからない三遠南信自動車道を待たせられる。このようなアンケートもとっても結局は理由を探し、要望は却下されるのは目に見えている。アンケートにかかる予算が無駄だし、その予算で一つでも多く要望に聞き入れ、中山間地域の振興を少しでもやってみてほしい。天竜区役所をもっと天竜区の中心に持ってくるぐらいのことをやってほしい。はじっこすぎ。

## 【水窪地区】

- ・中山間地域振興には、まず、アクセス道路の整備が必要（都市部からの所要時間の短縮、安全な道路（完全2車線化））。
- ・リニア問題早期解決してほしい。三遠南信自動車道トンネルが通れるようになれば長野の方が買い物は近いし東京へ行くにも楽になる。
- ・天竜区は一体というが、地域ごとに条件や課題は違う！まずは、地域ごとに条件が不利であることを認識したうえで、地域ごとの課題に対応する施策の構築が必要だ。都市計画地域のあるインフラや交通条件の良い天竜と山間地の水窪とでは、大きな格差があることは明白であり、これを同じ施策で対応することは、公平さに欠けるのではないだろうか？もっと言えば、集落ごとの課題の洗い出しと施策が必要であり、同条件の集落をカテゴリー別に整理して、カテゴリーごとの施策を検討してみてもどうか？各地域や集落における条件の不利益を示す点数づけをして、様々な中山間地域内で発動する施策の補正に使用してはどうだろうか？
- ・農地や山林が荒れてサル、イノシシ、シカの被害に困っている。急用で行動する場合タクシーの割引券のサービスがあると良い。
- ・中山間地域といっても、病院、銀行、電車、バスもあります。とりあえずの生活に苦はありません。ただ、道路が通行止めとなった場合、流通が止まってしまうのが一番困ります。仕事に通っている人も大勢います。安全な道路の確保をお願いしたいです。
- ・国道152号、雨量規制、事故があつてからの対策（道路）が遅い。令和6年1月1日の能登半島地震がくれば完全孤立。

- ・大雨が降れば道を心配しなくてははいけない。水窪は中山間地域ではなく、「山間地」です。天竜辺りと一緒にしないでほしい。
- ・現在は、自分も妻も60代で普段の生活で不便をあまり感じないが、80代とかになった時、車を運転出来なくなり、ボケてくるとか考えるとここに住めなくなるのではと大変不安になります。高齢の一人暮らしになっても安心して生活できるシステムを考えてほしい。
- ・天竜区及び町内の放送について、風水害、なつてはならない火災等、地名や場所が良く分かるよう内容について長々とした言葉では大変なことになりかねない。その点検討するよう強く要望します。
- ・10数年前までは、地域のみんが助け合って活動して、集落がきれいだった、人口が多かったこともありますが、今は公園、道路等、個人の手がつけられない公園とか予算がないとかで草が生い茂っている(年1回の草刈)。公園の整備が行き届いていた頃は、足の悪い人、病後の人のリハビリ、散歩、こども達の自転車遊び、サッカー、ボール投げ、バスケット等楽しんでいた。令和5年夏、サッカーボールを持った少年達がしょんぼり帰って行くのを見ました。水窪は平地が少なく、公園はあるのに使うことが出来ない。草木が茂っているので、川遊びすら出来ない。大雨の時の水害の素。
- ・道路を2車線にしてほしい。自分達にとっては生活道路です。この先、老人の町になってしまいます。若者たちの働く場所、工場などできるようになってほしいです。災害が起きた時、どうなるのか。ヘリコプターなどが助けに来てくれるように用意してほしいです。
- ・国道152号、もっと整備してほしい(災害に強い道路)。相月に予定していたトンネル工事、今の場所がダメなら、違う所からトンネルができないか?二俣に今よりも早く着けばこども達も帰ってきて、町中にもぎやかになると思う。道の駅の整備(他から来ても食事する所がない。町内の人が気やすくはいれるような場所)。個別受信機を昔みたいに各家庭につけ災害に対応できるようにしてほしい。また、町内(例えばマラソン大会、運動会など)前の日に放送してほしい。

## 【龍山地区】

- ・天竜区においても限界集落が増えていくのは必至だと思います。全国的にみても余程魅力のある地域だけしか残れないように思えます。人口の多い少ないではなく助け合える人間関係や集落機能をどうしていけば良いかだと思います。全国的なニュースをみても若者たちが移住しても補助のあるうちはその地域に残っても地域の人達と軋轢が生じやがて、また都会に戻ってしまうケースを耳にします。空き家対策も難しい問題だと思います。真剣に取り組もうとしている人もいることを否定はしない。
- ・秋葉トンネルの大雨が降れば通行止めは大変困ります。横山の橋をもっときれいにしてほしい。サビていきます。
- ・車道が崩れたりして通行出来ない時は迂回路を早く整備してほしい。
- ・東雲名の堤防の道路を舗装してほしいです。国道が通れなくなると、東線の道路を車がいっぱい通るし、釣りの人も多く利用します。
- ・地域の人々の交流を深めるサロンのようなものをずっと続けていただきたい。金融機関を移動販売車のように各集落(小保に)月に一度でいいから来て頂きたいです。龍山ふれあいバス(タクシー)はとてもありがたいです。ずっと続けていただきたいです。
- ・空き家を手放さないで放置している方々に、手放すか、貸し出しすると、「こんないいことがある」等、人が住めなくなる前に、浜松市で手放したくなるような案を出してほしい。
- ・天竜区なんて小さな区で何ができるのでしょうか。希望が持てません。だんだん都合が悪くなっています。
- ・個人的な話で申し訳ないが、とにかく休みは静かにしていきたい。自分の趣味に時間を取りたい。交流だとか何かをやるうとするとか、ストレスがたまるだけ。今の仕事に就いてなければ、また違った考え方になると思うが、現状は無理だ。

## 【引佐地区】

- ・ 昼も夜も関係なく回覧板や葬式のお知らせが回ってくるので、家に誰かいないとではならず、留守を開けられない。人が少ないので、寺や神社、自治会の役員がすぐに回って来て大変です。働いているのでなかなか務まりません。以前は地区で納涼祭をしていて楽しかったけど、補助金だかが出なくなったとかでやらなくなった。
- ・ 自治会は現在、伊平1～5区、東・西黒田、兎荷と8地域に分かれています。伊平4～5区は、道路が整備されたりして住人が他より多いです。他の地域は50～90才が8～9割です。誰かが再編等を考えて行動しないと、この地域は10年後には、道路の草刈り、清掃、祭り等は出来なくなると思われます。
- ・ 家の前が令和5年に災害に遭い、浜松市第25号引佐川西本道線道路災害復旧工事が、決まっているようですが今もって手つかずです。畑にも亀裂が入り段差が付いています。大工事の様子、金額まで記入されています。地すべり地区になっているので、毎日が心配です。1日も早く工事が始まることを願っています。
- ・ 交通手段の充実（オンデマンド式では不便）。人が集まる施設の誘致など。
- ・ 災害発生時のために（渋川は孤立する確率が高いので）集まる場所の整備を今から考えてほしい。例えば、近くにある施設（てんてんゴー）。
- ・ イノシシ、シカの駆除は猟友会の人たちである程度行なわれているが、駆除された死骸のほとんどは、埋設処理されていると聞く。「ジビエ」としての価値をいかすために、食肉処理から加工、販売先の掘り起こしまで、一連のモデルを官民協力して構築したらどうか。食肉処理、加工施設の設置補助や必要な法的資格取得についてなど一連のマニュアルも用意してほしい。わずかながら、雇用も生まれるかも知れません。
- ・ 令和5年6月2日の豪雨で裏山の土砂崩れにより地域の施設に避難させてもらいました。それまで、災害時は垂直避難のことしか頭になかったのであわててしまい物を持っての避難ではありませんでした。施設（渋川改善センター）は避難所指定にはなっていないため、会合などで使用する座布団はありましたが、他の物はなく、せめてタオルケット・毛布があってくれたらと思いました。雨の中、家から持ち出すこともできず、今後の災害のことを考えると、突発的に避難が必要な時があるのではと思います。
- ・ 数年後には、地域の小学校への入学者が居なくなることも予測される。危機感があります。問22の施策もいくつか望みます。若者たちに移住の場を提供できるよう地域でも空き家の整備・確保に努める必要を感じます。子育て世代に手厚い支援をもっと充実できると良いと思います。
- ・ 高齢化して免許を返納すると交通手段が確保するのが難しくなり移動が困難になるため、公共の手段の確保が必要。このままでは地域確保が難しくなっていく。
- ・ 自動車の運転が出来なくなった時にバス、タクシーなどの交通手段がないことが一番困ります。
- ・ つつじ線、なおとら線を拡充してほしい。⇒引佐北部小中学校の児童生徒数を増やしたい。
- ・ ゴミ最終処理場にしないこと。

※問10、問13、その他における自由記述内容については、ご回答いただいたアンケートに基づいて掲載させていただきます。